

乳腺アポクリン癌32例の臨床病理学的検討

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2012-04-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 阿部, 郁子 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001433

順天堂大学 博士(医学)

氏名 阿部 郁子

論文題名 乳腺アポクリン癌 32 例の臨床病理学的検討

論文内容の要旨

目的：我々は、32 症例（34 病変）の乳腺アポクリン癌（apocrine carcinoma ; AC）について、ER、PgR、Her2 と Ki67 との関係を中心に検討を行った。AC の組織学的な特徴を分析し AC 症例の診断・治療に寄与することを目的とした。

対象：2006 年 1 月から 2010 年 12 月までに順天堂大学乳腺内分泌外科で手術を施行した原発乳癌患者 1,910 例のうち、病理組織学的に証明された AC の 32 症例（そのうち両側 2 症例、計 34 病変）を対象とした。

方法：光学顕微鏡的検討、免疫組織学的検討および超音波検査による検討を行った。

結果：リンパ節転移症例は 4 病変で、そのうち浸潤性乳管癌が併存している AC は 1 病変、浸潤性乳管癌が併存していない AC は 3 病変であった。4 病変の Ki67 Labeling index (LI) はいずれも高値を示した。intrinsic subtype の分類に従うと、Luminal A が 1 病変、Luminal B の Her2-negative が 4 病変、positive が 1 病変、Her2-rich が 7 病変、triple negative が 21 病変であった。そのうち浸潤性乳管癌が併存する AC は 12 病変認められ、Luminal A が 1/1 病変、Her2-rich が 2/7 病変、triple negative が 9/21 病変であった。また、浸潤性乳管癌が併存する 12 病変では、Ki67LI が高値を示す症例が 5 病変あった。

結論：浸潤性乳管癌が併存していない浸潤性 AC に 3 病変のリンパ節転移症例が認められた。この 3 病変は Ki67LI が比較的高値を示しており、潜在的に悪性度が高い可能性も示唆された。このような症例については、より慎重に経過観察を行うか、積極的に薬物療法を行うべきであると思われた。